大津市議会
湖誠会 議会だより
Otsu City Assembly
KOSEIKAI NEWS
2015.3
vol. 23
平成27年3月29日発行
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号　TEL.077-528-2839　FAX.077-523-2020　URL▶http://otsu-koseikai.jp

ごあいさつ

市民の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。これまで湖誠会に対しまして、温かいご支援とご指導を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

さて、まち・ひと・しごと創生法により地方を取り巻く環境が大きく変わろうとしておりますが、2月通常会議においては、子ども・子育て施策をはじめ、高齢者施策や観光振興、雇用対策など市民福祉の向上と活力あるまちづくりの創出に配慮した予算となるよう慎重に審査し、平成27年度予算が成立したところであります。

湖誠会では、今後とも皆様が住んでよかったと実感していただけるまちづくりを目指して、市民の皆様とともに歩んでまいりたいと考えておりますので、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

幹事長　竹内照夫

平成27年度予算が決まりました

●平成27年度の予算が2月市議会通常会議及び3月市議会特別会議で可決されました。なお、平成27年度の予算は、当初予算に第1次補正予算を加えたものとなります。

政府の経済政策により景気は回復基調にあるものの、市内企業の収益増など、地域経済への好影響までには至らず、市税収入は前年度に比べてやや減収となる見込みです。その一方で、高齢化の進行等による社会保障関連経費が増加し、財政の硬直化が懸念されています。

湖誠会では、人口減少への歯止めと持続可能なまちづくりを目指すため、暮らしを支える行政サービスの向上と住みやすさを実現させる都市基盤整備の推進を求めてきました。この結果、学校園の大規模改修や耐震改修、膳所駅や大津駅周辺等のまちづくりなどの政策が着実に実行されます。

●大津市の財政は36年間、黒字決算を続けており、将来負担比率など健全化判断比率は、いずれも健全な状態を維持しています。

●今後も行財政改革を着実に推進し、健全な財政を堅持します。

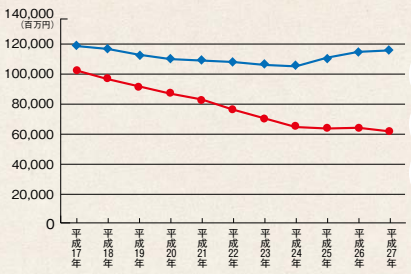
平成27年度予算（対前年度当初比）

一般会計　（△4.3%）
1,082億7,809万3千円

特別会計（10会計）　（13.2%）
695億3,160万円

企業会計（5会計）　（△3.6%）
671億7,944万円

借入金（市債）現在高の推移（グラフ）

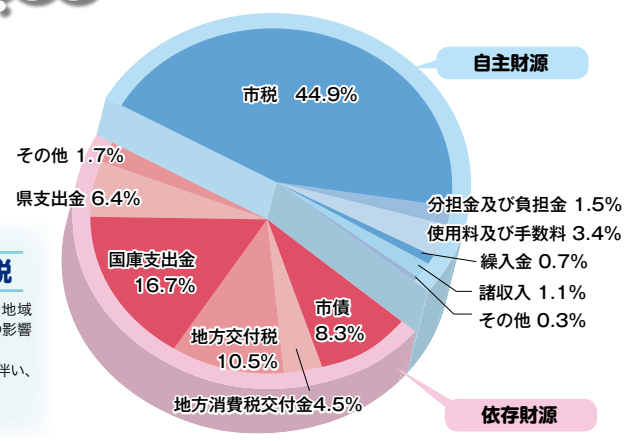


大津市の「借金」ってどれくらいあるのかな？

※各年度の市債残高の推移を示しており、平成26年度と平成27年度は見込みです。
※青色のグラフは全市債の残高を、赤色のグラフは建設事業に伴う市債のみの残高を示しています。
建設事業債が減少していることがおわかりいただけます。

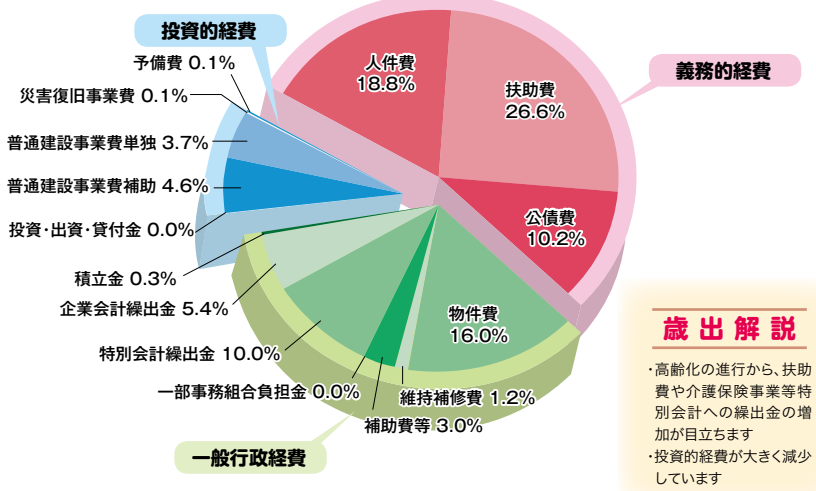
平成27年度末 市債残高見込額
総　額　**117,417,143,000円**
市民一人当たり　**342,796円**

一般会計歳入予算額



歳入解説
・景気回復の波はまだ地域に及ばず、税制改正の影響から税収は減少
・建設事業費の抑制に伴い、市債は減少

一般会計歳出予算額



歳出解説
・高齢化の進行から、扶助費や介護保険事業等特別会計への繰出金の増加が目立ちます
・投資的経費が大きく減少しています

市民一人当たりの予算額316,115円はこんなふうに使われます

民生費 43.3%	高齢者、障害者、子ども・子育ての支援などに	136,878円
土木費 11.8%	道路、公園、公営住宅の管理などに	37,301円
衛生費 10.6%	ごみ、し尿の処理や健康推進などに	33,508円
公債費 10.2%	借りたお金の返済に	32,244円
総務費 9.7%	企画、市民協働、防災対策などに	30,663円
教育費 9.0%	学校の管理運営や教育施設整備などに	28,450円
消防費 3.1%	消防や救急業務などに	9,800円
その他 2.3%	産業・観光の振興などに	7,271円

※金額は一般会計の歳出額を平成27年3月1日現在の人口342,528人で割り戻した額
※表中の%は歳出全体に占める割合

これからも市の財政に注目してね！

主な事業内容

たいへん厳しい財政状況ではありますが、市民の暮らしを支えるために提案した政策要望が、平成27年度予算に盛り込まれました。今後も、さらなる行財政改革の推進と市民サービスの向上を働きかけていきます。

子育て、教育
●民間保育園施設整備補助……3億7,108万円
●児童クラブ施設整備……2,800万円
●教科書改訂……1億910万円
●小中学校大規模改修……6億3,335万円
●幼稚園空調整備、耐震改修　3億7,389万円

高齢者
●生きがい就労支援……260万円
●地域包括支援センター運営…1億4,607万円
●介護予防推進……1,490万円

都市基盤整備
●膳所駅周辺整備……8億3,758万円
●大津駅西地区土地区画整理…8億3,100万円
●堅田駅西口土地区画整理……7億300万円
●市道橋長寿命化推進……2億7,090万円
●JR大津駅の活性化支援……6,700万円
●皇子山球場ナイター設備改修…1億3,000万円

行財政改革
●公共施設等総合管理計画の策定……900万円

その他
●防災行政無線デジタル化　6億749万円（債務負担）
●障害者移動支援（2人介助含む）　2億6,545万円
●再生資源利用促進補助制度の充実　6,575万円

公職選挙法により、議員による時候の挨拶状・寄付行為などは禁止されています。ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

竹内基二（たけうち もとじ）

副幹事長　〒520-0836 大津市杉浦町19番16号

- 議会運営委員会委員
- 総務常任常任委員会委員
- スポーツ推進等対策特別委員会委員

市議会議員に当選させて頂き，二期８年が過ぎようとしています。
プロ野球公式戦が誘致できる皇子山球場のナイター照明整備や膳所地域の歴史文化を生かした都市整備のための調査、民間保育園や介護施設の誘致と整備ができましたのも市民の皆様のご支援のお陰と感謝しております。
感謝の気持を忘れず、市政の発展に誠心誠意努力してまいる所存でございます。より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

二期８年間の主な取り組み

- 庚申川（中庄、膳所団地間）の暗渠工事
- 特別養護老人ホームの誘致
- 相模川上流の橋梁の改修
- 膳所公園のテニスコートの整備と休憩所設置
- 民間保育園の誘致
- 兵田川の通学路に安全柵の設置
- 東海道の歴史を生かしたまちづくり調査
- 相模川遊歩道に街灯の設置

竹内照夫（たけうち てるお）

幹事長　〒520-0802 大津市馬場一丁目8番19号

- 議会運営委員会委員長
- 教育厚生常任委員会委員
- 予算決算常任委員会副委員長
- 公共施設対策特別委員会委員

やさしい心のあるまちへ

- お年寄りや体の不自由な方に安心なバリアフリーを進めます。
- 思いやりやいたわり、やさしい心を育む教育の充実に努めます。

ときめく心のあるまちへ

- 市民の皆さまが明日への希望を持ち、可能性が生かせるまちを目指します。
- いつまでも未来にときめくことができる生涯学習の充実に努めます。

きびしい心のあるまちへ

- 事故や犯罪は許さない安全安心なまちづくりに努めます。
- いじめは許さない！心をつなぎ、いじめのないまちを目指します。

豊かな心のあるまちへ

- 女性の活躍を応援し、男女とも豊かさを感じるまちを目指します。
- 大津の誇る伝統文化や歴史資産を未来へと受け継ぐ施策に努めます。

美しい心のあるまちへ

- 琵琶湖の水質保全をはじめとする自然保護に努めます。

鷲見達夫（すみ たつお）

副議長　〒520-0843 大津市北大路一丁目11番32号

- 副議長
- 教育厚生常任委員会委員
- 予算決算常任委員会委員長

みなさまと共に住み良い街づくり

未来を託す子ども達のために

夢のある街づくり

開催の協力をいたしました

晴嵐広場の開催

晴嵐学区に通う5才児作品展の開催

愛のある街づくり

住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、高齢者福祉の改善に真剣に取り組みます。
介護を必要とするすべての方が利用できる施設の充実を図ります。

安全・安心の街づくり

不意の災害に備えるため地域防災・防火の活動の充実にあたります

にぎわう街づくり

大津の発展と活性化を目指した豊かな自然に恵まれた、琵琶湖の環境保全に全力を注ぎます。
歴史ある大津の観光事業を推進します。

園田寛（そのだ ひろし）

議長　〒520-0054 大津市逢坂二丁目6番27-206号

- 議　長
- 生活産業常任委員会委員

輝かしい大津の未来に向けて

市会議員として三期目の任期を4月末に終えようとしています。
また、この1年間は、議長という大役をも務めさせていただきましたが、これを潮に引退を決意いたしました。
この間市民の皆様には一方ならぬお世話になり、誠にありがとうございました。
青少年の健全育成をとの志を抱き、12年前から提唱してまいりました毎朝10分間の「朝の読書」も平成25年4月に、市内小中学校、全児童・生徒の実施が実現致しました。
今後は全県下で「朝の読書」に取り組めるよう尽力して参りたいと考えています。
幸い大津市に於いては議員と事務局の一体化により議会の活性化が進み、全国的に評価されています。
更なる大津市の発展のため、最大会派湖誠会の活躍が期待されています。市民の皆様の会派所属議員への一層の御支援ほどよろしくお願い申し上げます。

青山三四郎（あおやま さんしろう）

〒520-0865 大津市南郷一丁目4番9号

- 教育厚生常任委員会委員
- スポーツ推進等対策特別委員会委員

●二〇二五年を見据えた高齢者対策

◎地域包括ケアシステムの構築
◎あんしん長寿相談所の充実
◎団塊の世代が75歳以上となる高齢者対策

●子育て支援

◎子ども医療費助成の拡充
◎母親が働きやすく、子育てしやすい環境の整備
◎災害に強い「まち」づくり（異常気象に伴う対策）
◎本市の児童、生徒の学力向上、地域あげての教育環境の充実
◎リスクに強い真の環境行政

武田平吾（たけだ へいご）

〒520-0247 大津市仰木二丁目23番14号

- 総務常任委員会委員
- スポーツ推進等対策特別委員会委員長

これからもまっすぐに市民本位の、ぶれない政治を目指します

- 地域間バランスのとれたまちづくり
  人口減少化地域の活性化対策
- 少人数学級の実現と教師の質を高め、確かな学力の向上・道徳教育の充実
- 介護福祉施設の整備充実
- 幼稚園・保育園の一元化など子育て支援策の充実
- 女性が輝く社会の実現
- 地場産業の振興と雇用創出
  農業の6次産業化の奨励と後継者支援国産木材の積極的利活用
  琵琶湖漁業の積極支援
- 太陽光発電など原発依存の軽減を目指したエネルギー社会づくり
- 頻発するゲリラ豪雨や地震などに備えた災害に強いまちづくり

伴孝昭（ばん たかあき）

〒520-0043 大津市中央四丁目11番9号

- 総務常任委員会委員長
- 防災対策特別委員会委員

いいね！大津

住みよいふるさとを目指します。

伴たかあきの

まちづくりは市民のみなさまとともに

いのちと財産を守る

「もっと安全」な大津に

- 地域の力を生かした地域防災体制の充実・防災対応力の強化

次代を担う街のにぎわいを創る

「もっと元気」な大津に

- 大津百町を舞台とした中心市街地の活性化
- JR大津駅ビルの再生・大津駅周辺整備

お年寄りや子ども達に

「もっと安心」に暮らせる大津に

- 子育て世代への支援・教育環境の更なる充実
- 在宅介護における支援の充実
- お年寄りが安心して買物ができる商店街や交通機関の再整備

近藤眞弘（こんどう まさひろ）

〒520-2144 大津市大萱二丁目23番14号

- 施設常任委員会委員
- スポーツ推進等対策特別委員会委員

みなさまとご一緒に、安全で安心な住みよい大津（まち）づくり、活気と和みのある地域（まち）づくり

～生まれ育った大津市のために～

4年間コツコツ取り組んだ主な成果

- 原付バイクオリジナルナンバープレートの提案・交付
- 瀬田北小学校の通学区域問題解決
- 莫大な未収金回収業務の改善
- 経費の削減と職員の出退勤管理及び時間外手当削減
- 東部学校給食共同調理場の移転新築（平成30年度内に中学校給食と一体で実施）
- JR瀬田駅前南口広場の再整備（平成28年度内実施）

今後の主な取り組み

- 通学路の防犯カメラ設置など犯罪を許さないまちづくり
- 自主防災組織の充実と強化による防災・減災対策
- バリアフリー化・介護施設の充実など、高齢者・障害のある方にとって住みよいまちづくり
- 待機児童の解消・いじめ対策強化など子育てしやすい環境づくり
- イオン前・浜街道の交通渋滞解消（道路網整備）
- あふれる活気と活力があり、ホッとできる空間のあるまちづくり

桐田真人（きりた まこと）

幹事　〒520-2141 大津市大江五丁目35番8-103号

- 議会運営委員会委員
- 生活産業常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

政策立案力・政策実行力・地域密着力の桐田まこと38才　一期目要望対応371件の実績。(H27.3月現在)

わたしが目指す大津。【抜粋】

- 高齢者の皆様の口腔健康管理・栄養管理に取組みます。
- 不妊治療の支援体制充実に取組みます。
- 中学校給食の導入を図り、食育推進に取組みます。
- 市役所の相談対応力向上に取組みます。
- 幼稚園３年保育開始を目指します。
- 大津東警察署の新設を目指します。
- 東消防署の施設改修に取組みます。
- 通学路・歩道などのくらしの道や地域水路などの改修整備に取組みます。

皆様の声を力として、共に取組みました。【抜粋】

- 教育環境の充実。
  - 市立幼稚園・小学校・中学校エアコン空調整備を実現。
  - 瀬田小学校大規模改修、瀬田幼稚園増築を実現。
  新たに瀬田中学校大規模改修着工予定。
- 子育て支援の充実。
  - 児童クラブ保育時間延長を実現。
  - 幼稚園預かり保育事業等の拡充を実現
- くらしの道の充実。
  - 市道の維持管理財源を約２割強の増額を実現。
  - 大江庄山線における未整備の歩道の整備を実現。
- 大津市職員倫理条例制定を提案(H27年4月施行予定)
- 大津市災害等基本条例の立案参画(H27年4月施行予定)

津田新三（つだ しんぞう）

幹事　〒520-0242 大津市本堅田五丁目9番15号

- 議会運営委員会委員
- 施設常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員長

地域の発展と市民が安心して暮らせるまちづくり

学校での給食に全力！

「食育」と「子育て支援」の観点から中学校で給食が早期に実施されるよう全力で取り組みます。

「歴史まちづくり法」の認定と財源の早期獲得に全力！

認定と補助・助成財源を活用して新たなまちづくりが展開されるよう全力で取り組みます。

介護施設を増やすために全力！

ご家族の安心のために新たな施設を増やすなどの対策がとれるよう全力で取り組みます。

「湖西台」の活用に全力！

95ha余の同地域に産業が誘致されるよう、併せて同地内を通る都計道路(堅田駅西口線)が早期に完成されるよう全力で取り組みます。

湖西台地図

中野治郎（なかの じろう）

副政調会長　〒520-0113 大津市坂本三丁目11番37号

- 施設常任委員会委員長
- 防災対策特別委員会委員

元気誠実　中野じろうが元気誠実に取り組みます。

安全安心のまちづくりはインフラ整備の推進から

道路整備の強化・推進
- 県道比叡辻日吉線の拡幅整備
- 国道161バイパス4車線化の推進 ほか

集中豪雨に対応した河川改修の推進
- 天井川藤ノ木川の改修推進 ほか

防災対策訓練・防災教育の強化推進
- 自主防災組織・訓練の育成強化 ほか

大津の地方創生は世界文化遺産の活用から

世界文化遺産を活かした地域活性化の推進
- 比叡山延暦寺、日吉大社、西教寺、里坊を活かした地域活性化の推進
- びわ湖を活用し雄琴温泉を活かした観光振興の推進
- 自然環境を守り自然を活用した観光振興を推進

国宝根本中堂

少子高齢化社会を見据えたまちづくり

子ども子育て支援・高齢者福祉の推進
- 少子化が進む地域の子ども子育て支援
- 住みなれた家で安心の在宅医療を推進

☆私の政治信条「尽真心（じんしんしん）」（真心を尽くす（まごころ））
☆元気な人づくり地域づくりに努力します。☆老後の安心に向け努力します。

北村正二（きた むら しょうじ）

政調会長　〒520-0528 大津市和邇高城270番地28

- 施設常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員
- 大津市子どものいじめの防止に関する条例検討特別委員会委員長

まっすぐに ひたむきに

「感謝・礼節・責任・貢献・公私の分別」を心得とした初心を忘れず、さらに努力して参ります。

議会では、いじめ防止条例を策定した政策検討会議で座長を務めたほか、議会基本条例の策定にも参画。

「大津市は古代、天智天皇が都を置いた地として古都指定を受けた都市であるとともに、父なる比良、比叡の山々、母なる琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境の中で悠久の歴史と文化を育んできた。…」という前文の始まりを提案しました。大自然や社会や先人に対する感謝の気持ちを養いつつ、未来に責任のもてる地方自治を目指します。

八田憲児（はった けんじ）

〒520-0026 大津市桜野町一丁目14番18号

- 生活産業常任委員会委員
- 防災対策特別委員会副委員長

大津市民が安心して暮らせる生活をつくる
子育てと仕事の両立できる地域社会をつくる（ワークライフバランスを重視）
子ども達に自慢できる夢の持てる地域をつくる

災害　交通　医療　介護・福祉　教育　生活　就職・雇用
安全・防犯　環境　まちづくり　神事・仏事　スポーツ

これまでの経験を活かし、市民・地域が抱える悩みや課題の解決に全力で取り組みます！

《資格》ケアマネージャー／管理栄養士

まごころ
ささえあい・たすけあい

横田好雄（よこた よしお）

〒520-2273 大津市羽栗三丁目13番5号

- 総務常任委員会副委員長
- 公共施設対策特別委員会委員

平成15年の初当選以来、3期12年間、市民の皆様方に大きなご支援ご指導を頂いた事に対し、改めて厚くお礼申し上げます。

私は、今年４月末日の任期をもって引退させていただきます。

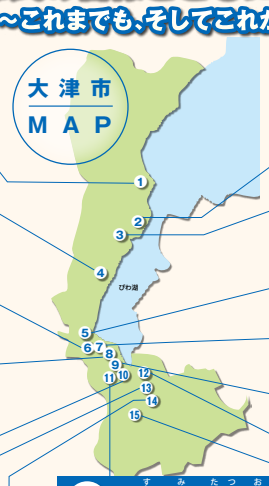
在任中は、大津市政の様々な事業に携わることが出来ました。

そして、皆様方と貴重なご縁に恵まれたことや、かけがえのない経験をさせていただき感謝しております。

今後は、真の地域主権が押し進められることを期待し、更なる大津市の発展を確心しています。

結びになりましたが、議員各位の強い結束と市民の方々の益々のご発展を心からご祈念申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

湖誠会は、市民の皆様とともに歩んでいきます。
～これまでも、そしてこれからも～



1. 北村 正二（きたむら しょうじ）
2. 津田 新三（つだ しんぞう）
3. 武田 平吾（たけだ へいご）
4. 中野 治郎（なかの じろう）
5. 八田 憲児（はった けんじ）
6. 園田 寛（そのだ ひろし）
7. 伴 孝昭（ばん たかあき）
8. 竹内 照夫（たけうち てるお）
9. 伊藤 茂（いとう しげる）
10. 竹内 基二（たけうち もとじ）
11. 鷲見 達夫（すみ たつお）
12. 近藤 眞弘（こんどう まさひろ）
13. 桐田 真人（きりた まこと）
14. 横田 好雄（よこた よしお）
15. 青山 三四郎（あおやま さんしろう）

伊藤茂（いとう しげる）

〒520-0837 大津市中庄１丁目15番23号

- 総務常任委員会委員
- スポーツ推進等対策特別委員会委員
- 大津市子どものいじめの防止に関する条例検討特別委員会委員

「大津に感謝！」

子どもから高齢者まで
夢と希望をもって
生きられるまちづくりに
惻隠の情をもって取り組みます。

これまでの主な成果

- 学校給食会計の公会計化
- 公共施設のトイレの洋式化
- 相模川の改修

市議会２月通常会議

会派代表質問

湖誠会　竹内照夫幹事長

質問項目

- 地方創生について
- 平成27年度予算について
- 教育行政について

Q　まち・ひと・しごと創生法に基づき地方が大きく変わろうとしている中、市長は就任3年間の市政運営をどのように総括し、平成27年度予算編成に当たったのか、その基本方針は？

A　社会構造の変革期を迎える今、大津から変えるという思いを込めて、子ども・子育て支援、観光振興、環境政策、行財政改革を重点に市政運営を行い、市民のために変化をもたらせたと評価している。

そのうえで、平成27年度予算を「人口を減らすことなく、将来に備える予算」と位置付け、子ども・子育て施策や教育の更なる充実、雇用機会の確保や女性の活躍を支える取り組みを進め、さらに将来を担う次世代に対して投資を行う一方、市債残高の適正化など財政健全化の堅持を予算編成の基本方針とした。

Q　平成27年度予算では、介護職員初任者研修の受講費補助を行うとしているが、一歩進んで高齢者の生きがいづくりや就労を促進していく考えは？

A　介護職員確保のための人材確保事業に加え、定年後の元気な高齢者が無理なく働くことができ、地域貢献と交流の場の創設を目的として、元気高齢者生きがい就労事業に取り組む。具体的には、子育てや介護、農業、剪定など多様な分野で活躍できるようコーディネーターを配置し、高齢者の生きがいづくりや就労支援に努める。

Q　大津駅西第一土地区画整理事業の現在の進捗は状況と今後の見通しは？また、地元から防災公園として整備要望のある滋賀労働局跡地の利活用の方針は？

A　権利者や地域の皆様のご協力により、施行区域の大津駅側約半分程度の区域については、建物の除却がほぼ完了し、道路築造や宅地整備を進めている。平成26年12月末時点での執行率は全体事業費に対して、約65％となっている。

今後の見通しについては、事業認可期間の平成28年度末での完了が困難なことから事業期間の延伸について、権利者の皆様や関係機関と協議を行っているところである。

また、滋賀労働局の跡地については、新たに住民組織が発足し、当該跡地利用を踏まえたまちづくりに熱心に取り組まれており、まちの将来に関するアンケートも実施される予定である。市としては、当該跡地の動向を注視しながら、地域の活動やアンケート結果を尊重しつつ、大津駅西地区全体のまちづくりを積極的に支援していく。

Q　まち・ひと・しごと創生法に基づく地域住民生活等緊急支援のための交付金の活用方法について、市の考えは？

A　地域住民生活等緊急支援の交付金として、大津市には、4億7千4百万円が交付される予定である。

そのうち、地域消費喚起型・生活支援型の交付金については、市内の商店街などで共通して使用できるプレミアム付共通商品券と市内の宿泊施設で使用できる観光クーポン券の発行を検討している。

プレミアム付共通商品券については、額面1万2000円のものを1万円で販売し、観光クーポン券については、市内の宿泊施設利用者に5000円程度の割引を行い、市外からの消費を取り込むとともに、大津の魅力を広く発信したいと考えている。

また、地方創生先行型の交付金については、「子育て」、「女性活躍」、「観光」、「雇用や起業の創出」を柱に据えて、事業の選定を行っているところである。

2月通常会議一般質問

桐田　真人議員

大津市東消防署の施設改修について

Q　東消防署は築30年が経過しており、施設の老朽化、また手狭であり、くわえて、女性消防職員が隔日勤務するうえで必要となる執務環境が十分に整っていないことは、東消防署において大きな課題であり、速やかな施設改修が必要であると考える。消防局の見解を伺う。

A　東消防署は、大津市東部地域の消防防災拠点として非常に重要な施設と位置付けている。現在、施設の老朽化・狭あい化・女性消防職員の執務環境などの面において様々な課題を抱えていると認識している。

この現状を踏まえ、機能性・利便性に考慮した東消防署の改修整備を計画的に進めていく。

伊藤　茂議員

膳所城址公園の整備について

Q　膳所城址公園前の堀に敷設されたパイプは清掃するのに邪魔になり、美観も損ねている。このパイプの撤去ができないか、また流水量を増やすために、流水口の増設等の対策と、城門入口通路に敷設された南北の堀をつなぐパイプを太くして、南側の堀への流入量を増やし、堀の水質向上を図ることは、都市公園の適正な管理の一環だと考えるが、見解を伺う。

A　城門前の堀に敷設されているパイプは、井戸水を噴射するために設置されたものであるが、井戸水が濁ってきたため、現在使用を止めている。パイプの再利用が可能かどうか、調査し不可能であれば撤去することを検討する。

パイプが再利用できない場合の水質向上策について、南側の堀に流入口を増やすことや、城門通路に敷設されている横断パイプの改良等について研究する。

伴　孝昭議員

安心安全な商店街について

Q　商店街の活性化や高齢者が安心して買い物ができる取り組みについて見解を伺う。

A　この度設立をされた『株式会社百町物語』の取り組みについては、商店街にとって、にぎわいを回復できる絶好の機会でもあると考えており、『空き店舗再生支援事業補助金』や国の補助制度等を活用し、できる限りの支援を行い、商店街の活性化に繋げたい。

また地域コミュニティの担い手でもある商店街に対しても、『中小企業共同施設設置等補助金』などのハード整備に対する支援や、『商店街活き活き対策事業補助金』などのソフト事業に対する支援を引き続き行い、今後も高齢者をはじめとする地域の方々にとって、身近で安心して買い物ができる環境の確保に努める。

青山　三四郎議員

認知症施策について

Q　認知症施策は、実態やニーズなどの調査を反映させること、判断能力が十分でない高齢者などの権利擁護のために成年後見制度を活用することが重要であると考えるが、市の取り組みは？

A　認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らすためにニーズや実態の把握は重要と認識している。平成27年度モデル地区で調査を実施する予定であり、この結果を今後の認知症施策などに繋げていきたい。成年後見制度については、本市は全国に先駆けて利用支援条例を制定し、先進的な取り組みを進めてきた。今後はさらに市民の参画による支援体制の強化に努めていく。

近藤　眞弘議員

東部学校給食共同調理場の移転新築について

Q　私が本会議で3回に渡って質問を行ってきた「東部学校給食共同調理場」は昭和59年の開設以来、築30年が経過し、施設の老朽化が著しく、調理場の空調システムも未整備であり、児童・生徒の食の安全を脅かすものであり大変危惧している。移転新築は喫緊の課題であり、現在までの進捗状況及び今後の予定を伺う。また現在の調理場の跡地は狭あい化した瀬田北小・中学校の拡張用地として確保すべきだと考えるが見解を伺う。

A　複数の候補地を検討したが、ようやく瀬田の工業地域に適切な場所を見出した。平成27年度は用地取得に向けて手続きを進め、事業手法の検討及び事業の実施方針を定める。実施時期は、中学校給食と合わせ平成30年度内を目指す。また施設整備のスケジュールが具体化した時点で、瀬田北学区の生徒数の将来推計を見極め、跡地を学校建設用地として確保すべきかどうか判断する。

八田　憲児議員

医療介護現場における人材確保等について

Q　地域包括ケアシステム構築に向け、看護師及び介護従事者の需要増大が見込まれる中、市内看護学校への運営補助を平成28年度に終期とされたが、人材養成支援という観点から、どのような方針で事業費補助へ転換されるのか、また新年度予算案で新規に介護職員初任者研修（ヘルパー資格取得）受講費を補助する人材確保事業を創設されたが、その具体的な運用方法等について聞く。

A　県の動向を踏まえ、市内の医療機関等への就職につながる事業等に対し、助成をする方向で検討する。また、市内の介護事業所等に就労又は新たに雇用される方で、ヘルパー資格を取得希望される方を対象に勤務する事業者にも応分の負担を求めることを条件に、研修受講経費の一部について助成することで、人材確保と雇用の安定に繋げていく。

武田　平吾議員

仰木の里東八丁目の法面の復旧事業について

Q　平成27年度予算に計上された仰木の里東八丁目の法面の復旧事業は、台風11号により崩壊したもので、本来地権者が施行すべき事業だと考えるが、市が危険な箇所に宅地開発を許可したことにも大きな原因があると考える。急峻な法面などに許可を下ろす際には、慎重に慎重を重ねて審査するべきでは？

A　当該法面は開発行為の対象区域に該当しないため、地域の要望を受けて、市の事業として実施するものであるが、開発許可権者である市の責任は重いものであると認識しており、今後とも開発許可の審査の際には、現地の状況を十分確認するなど慎重に審査する。宅地開発区域外の法面の取り扱いについては明確な許可基準がなく、他の自治体に意見照会するなど調査していく。